

県立由利高校の生徒の取材を受けました!!

～ 地元高校生による鳥海ダム事業の取材 ～

9月13日、県立由利高等学校放送部の生徒3名と顧問の先生1名が、鳥海ダム工事事務所へ取材に訪れました。

当日は小嶋副所長が対応し、まずは鳥海ダム建設事業について知っていただくため、大会議室において事業概要説明を行いました。その後、生徒から質問を受け、ダムを作る目的やダムがいつ完成するのか等について取材を受けました。

県立由利高校放送部の皆さん、鳥海ダムに興味を持っていただきありがとうございました。



大会議室において取材内容の打ち合わせ



鳥海ダム建設事業概要の説明を受ける県立由利高校の生徒



ダムツーリズムやダムカードについても説明



取材は約1時間に及びました。お疲れ様でした。

鳥海ダムは総事業費約1,100億円で2028年度の完成を目標に実施していくことを公表しております。なお、総事業費や工期、以下に記載している数字等については、今年度の後半に予定されている基本計画の告示までに変更となる場合があります。

ダムの機能

①洪水調節

ダム建設地における計画高水流量である780m³/秒のうち700m³/秒を貯留して下流に80m³/秒を流下させる洪水調節を行います。

②流水の正常な機能の維持

正常な河川の水量を確保することで既得用水の安定供給を行うほか、塩水遡上防止や河川の水質の向上となる流水の正常な機能の維持を行います。

③水道用水の供給

由利本荘市に対して1日最大20,670m³の水道水を供給します。

④発電

鳥海ダムの建設により新設される鳥海発電所(仮称)において最大出力990KWの発電機能があります。

ダム及び貯水池の諸元

堤高:81.0m

型式:台形CSGダム

総貯留量:約4千7百万m³

有効貯留量:約3千9百万m³

鳥海ダム完成イメージ



※ただし、これらの数字は基本計画作成手続き開始時のもので今後変更となる場合があります。

編集後記

そろそろ早いところは稲穂も金色となり稲刈りを始めているところもあるようです。恐れていた台風シーズンですが、ここまで由利本荘市は大きな被害も無く過ごすことができております。これから本格的な稲刈りシーズンとなり、農家の皆様は忙しい時期となりますが、体調などに充分注意していただければと思います。

安全・安心の子吉川に抱かれて、より豊かに暮らせる、わたしたちの郷土のために。

国土交通省東北地方整備局鳥海ダム工事事務所

〒015-0885 秋田県由利本荘市水林408番地

TEL. 0184-23-5120 FAX. 0184-23-5451

ホームページアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/chokai/>